

■ tana gallery [ギャラリー棚] について

多治見市図書館では、多治見の誇りである美濃焼の文化を大切に、陶磁器にまつわる資料を重点収集してきました。

このたび新たに、本棚を活用したミニギャラリーを開設しました。ここでは、地元で活動される若手陶芸家の作品を展示いたします。また、作陶に影響を与えた本を陶芸家自身の言葉でご紹介します。

作品に込められた思いを伝え、多治見の今の作家と、みなさまをつなぐ新しい出会いの場となれば幸いです。

平成 28 年 6 月

多治見市図書館

tana gallery vol.8

今井千代展

期間：2018年7月28日（土）～10月31日（水）
場所：多治見市図書館（本館）3階 tana gallery



今井千代（いまいちよ）

Chiyo Imai

■ 略歴

愛知県出身

2002年岐阜県立多治見工業高等学校陶磁科学芸術科修了

現在多治見市にて作陶

✉ Mail : chiyo153@yahoo.co.jp

作品取扱店舗：多治見創造館 1F

＼美濃焼のまちの図書館で、美濃の陶芸作家と出会おう／

多治見市図書館 tana gallery（ギャラリー棚）

〒507-0034 岐阜県多治見市豊岡町 1-55 ヤマカまなびパーク 3F

TEL: 0572-22-1047

WEB: <http://www.lib.tajimi.gifu.jp/>

OPEN: 火-金 10:00-20:00（土・日・祝・18:00）CLOSE: 月曜・第3木曜・年末年始





『ひみつのかいだん』（のぼらの村のものがたりシリーズ）

講談社 1997年 E/バクノ

私にとって初めてお気に入りになった本が、このイギリスの絵本作家ジル・バークレムの「のぼら村のものがたり」シリーズです。

小学生のときに挿絵を眺めながら夢中で読んだことを覚えています。その中でも『ひみつのかいだん』はひとときわドキドキしながらページをめくっていました。ここ数年で読み返す機会があり、私の作品がこの絵本に少なからず影響を受けていると感じました。

やはり、子供の頃に熱心に読んだものはいつの間にかそのひとに影響を与えているのだと認識させられた、今でも大好きな絵本です。

『哀しい予感』

吉本ばなな／著 角川書店 1988年 913.6/33/

十代にばななさんの本に出会って以来、現在まで幾度もばななさんの本に救われています。

ばななさんの本にはそのときの私にとって大切な言葉や文、エピソードなどが必ず書かれていて、それをはげみに今まで歩み続けて来られたと思っています。多くの著書の中でもこの本は装丁も話もとても好きな本です。

『画文集 風のままに』

藤平伸／著 2005年 作家の個人所蔵本

絵であっても陶であっても、伸さんの作品を目の前にすると伸さんのような作品をいつか作りたいなどとは一ミリも思わず、「これはもはや魔法では！？」と言いたくなるくらいひとつひとつの作品が素晴らしく、まるで物語を観ているように感じます。

この出逢いは私の人生にとって、かけがえのない大切な宝物です。

(※多治見市図書館では『風のままに』は所蔵していません。

藤平伸さんの図録『夢つむぐ人 藤平伸の世界』『藤平伸展』を同時展示しております。)

花器	足付き ふたもの	今井さんが 影響を受けた本 『画文集 風のままに』	長い ふたもの	ハリネズミ の ふたもの
今井さんが 影響を受けた本 『哀しい予感』	ハコ ウサギ	ポット	ふたもの	今井さんが 影響を受けた本 『ひみつの かいだん』
掛け花入れ (左) ピンパッジ (右)	ポウル	カップ と クリーマー	菊皿	花器

※図書館での作品販売は行っておりません。お求めの際は作家まで直接お問い合わせ下さい。